

二級水系  
流域治水プロジェクト(中間案)  
(四日市圏域、鈴鹿圏域、津圏域  
松阪圏域、伊勢北部圏域、伊勢南部圏域)

---

# 四日市圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 三重県最大の都市圏域を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

中間案

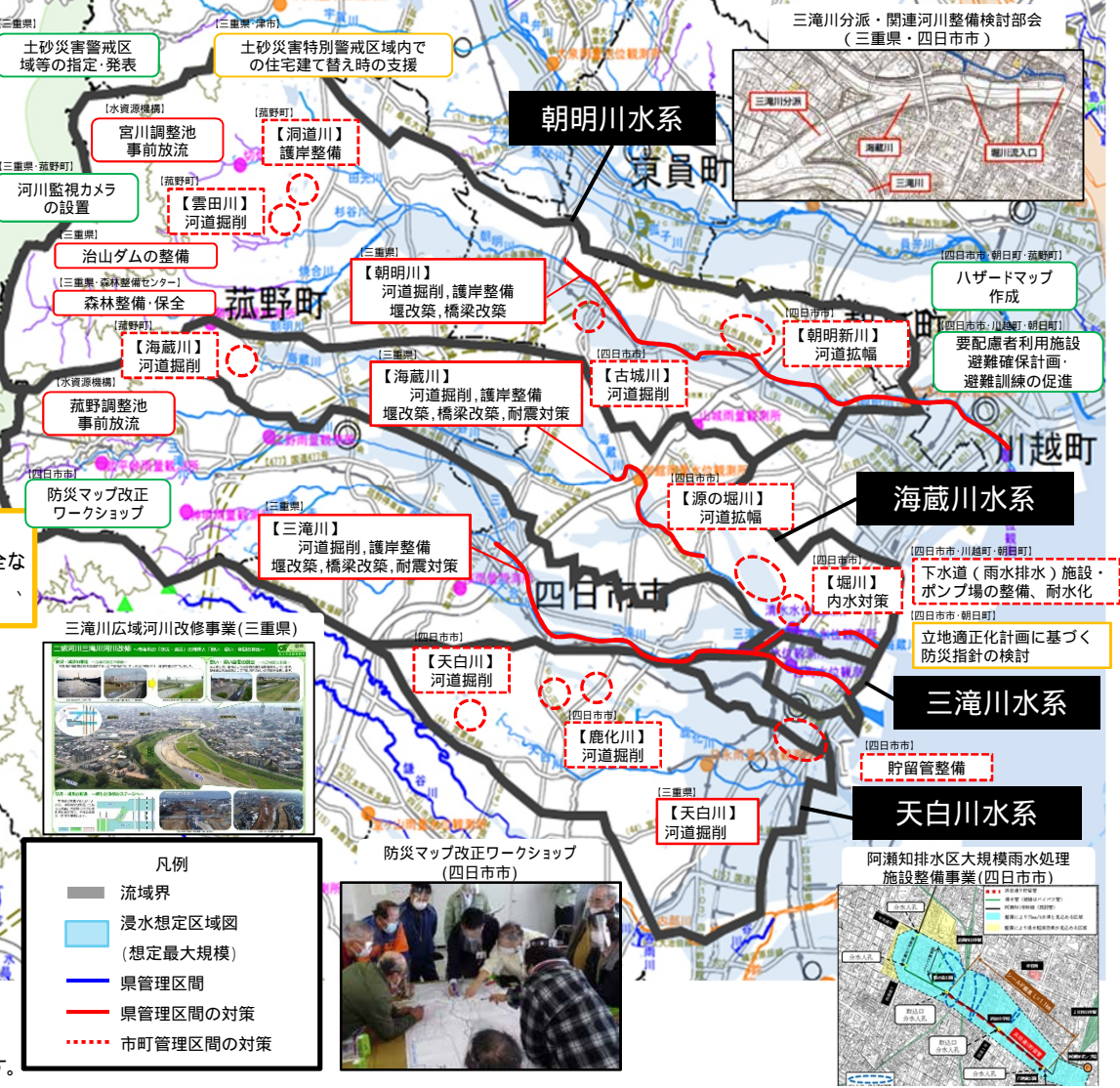
令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、四日市圏域の二級水系においても、事前防災対策を進める必要がある。当圏域においては、中下流部に三重県最大の市街地が形成され、臨海部には工業地帯が集積し、国道や鉄道など重要な交通網が集中している。出水時には多くの住民、多大な資産に影響を及ぼすものとなるが、その被害の要因は外水による被害だけでなく、内水による被害も大きいものとなっている。

○ 当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、河川改修による外水の氾濫対策と下水道整備による内水の氾濫対策が一体となったハード対策を中心に行うとともに、圏域全体において、ハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策等を実施することで、浸水被害の低減を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 朝明川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堰改築、橋梁改築 等  
 【流水の貯留機能の拡大】宮川調整池における事前放流  
 【内水氾濫対策】下水道（雨水排水）施設の耐水化、ポンプ場整備 等  
 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等
- 海蔵川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堰改築、橋梁改築、耐震対策 等  
 【内水氾濫対策】内水対策、下水道（雨水排水）施設の耐水化 等  
 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等
- 三滝川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削、護岸整備、堰改築、橋梁改築、耐震対策 等  
 【流水の貯留機能の拡大】菟野調整池における事前放流  
 【内水氾濫対策】下水道（雨水排水）施設の耐水化、貯留管整備 等  
 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等
- 天白川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削 等  
 【内水氾濫対策】下水道（雨水排水）施設の耐水化、貯留管整備 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討（立地適正化計画（見直し）に基づく防災指針の作成）、土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・高潮ハザードマップなどの策定・周知）
  - ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
  - ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練の実施）
  - ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
  - ・高齢者等の避難行動への理解促進（マイタイムラインなどの個人防災計画の作成）
  - ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善）
  - ・企業等と連携した避難体制等の確保
  - ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 四日市圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 三重県最大の都市圏域における外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

中間案

四日市圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市町、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】四日市圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削や下水道施設整備等を主に実施。被害軽減のため、立地適正化計画（見直し）に基づく防災指針の作成や水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】四日市圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業と内水対策事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。

【中長期】四日市圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築・堰改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

### 河川対策

全体事業費 約108億円  
対策内容 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堰改築、橋梁改築、耐震対策等

圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

### 下水道対策

全体事業費 約52億円  
対策内容 下水道施設の整備  
ポンプ場整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	【朝明川水系】 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堰改築、橋梁改築 等	三重県、四日市市、菟野町	緊急浚渫推進事業完了 河道川整備完了	朝明新川整備完了 事前放流	
	○流水の貯留機能の拡大 ・宮川調整池における事前放流等の実施	水資源機構			
	○内水氾濫対策 ・下水道（雨水排水）施設の整備、耐水化、ポンプ場整備 等	四日市市、川越町、朝日町	川越排水機場 ストックマネジメント事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		森林整備・保全	
	【海蔵川水系】 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堰改築、橋梁改築、耐震対策 等	三重県、四日市市、菟野町	緊急浚渫推進事業完了		
	○内水氾濫対策 ・内水対策、下水道（雨水排水）施設の耐水化 等	四日市市		堀川内水対策事業完了	
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		森林整備・保全	
	【三滝川水系】 洪水氾濫対策 ・河道掘削、護岸整備、堰改築、橋梁改築、耐震対策 等	三重県	緊急浚渫推進事業完了	三滝川分派完了 事前放流	
	○流水の貯留機能の拡大 ・孤野調整池における事前放流等の実施	水資源機構			
	○内水氾濫対策 ・下水道（雨水排水）施設の耐水化、貯留管整備 等	四日市市	貯留管整備完了		
○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		森林整備・保全		
被害対象を減少させるための対策	【天白川水系】 洪水氾濫対策 ・河道掘削 等	三重県、四日市市	緊急浚渫推進事業完了		
	○内水氾濫対策 ・下水道（雨水排水）施設の耐水化、貯留管整備 等	四日市市	貯留管整備完了		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討	四日市市、朝日町	立地適正化計画（見直し）に基づく 防災指針の作成・検討		
	・土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	三重県、四日市市			
土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 （洪水・高潮ハザードマップなどの策定・周知）	気象庁、三重県、四日市市、川越町、朝日町、菟野町、他あらゆる関係者	ハザードマップの作成・更新			
		全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 鈴鹿圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

中間案

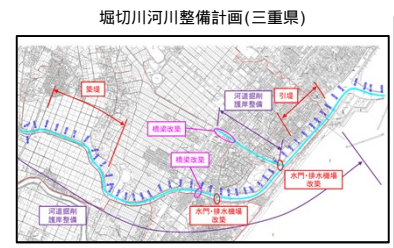
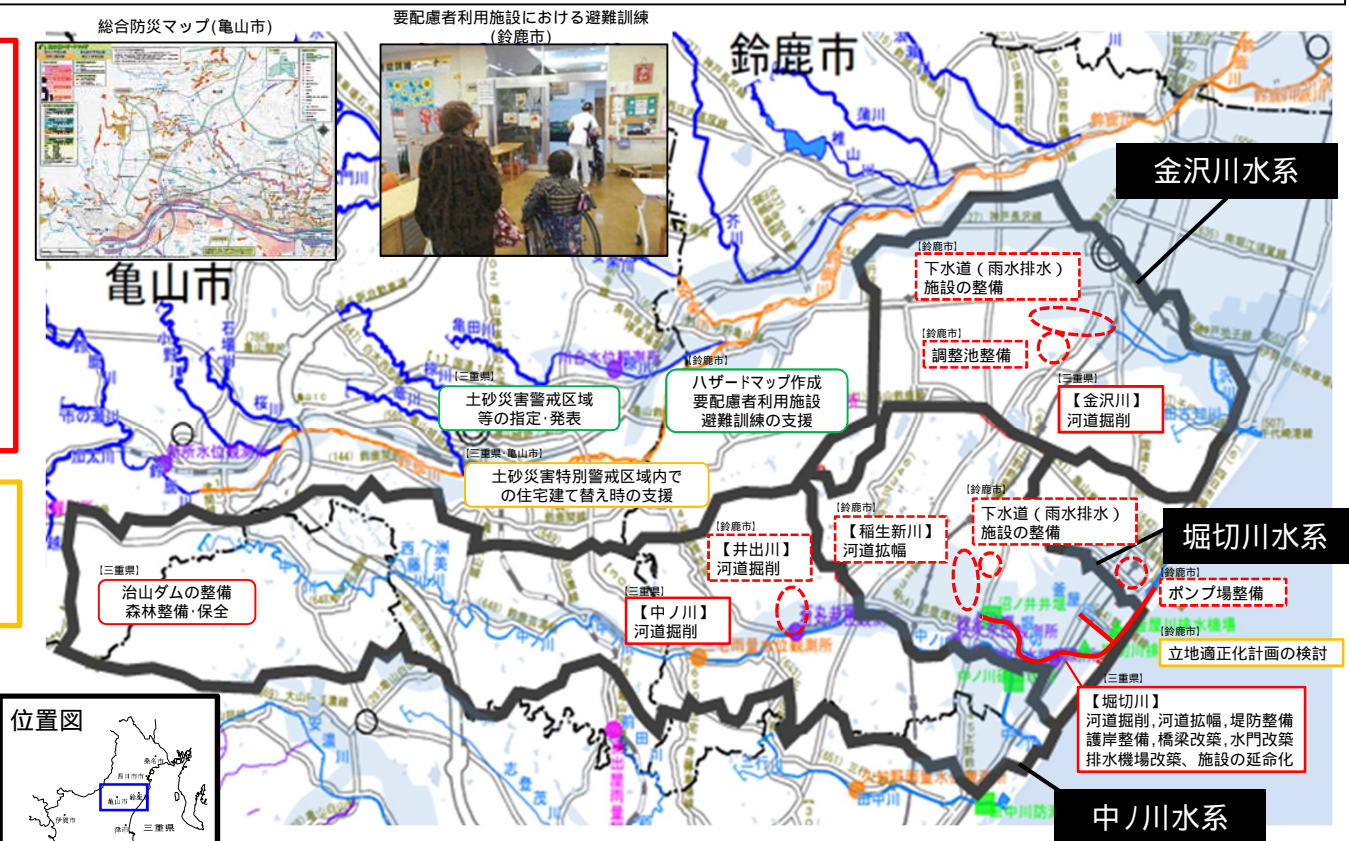
～ 国内有数の産業集積地を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、鈴鹿圏域の二級水系においても、事前防災対策を進める必要がある。当圏域においては、下流部に市街地・工業地帯が形成され、中上流部は主に水田が広がっている。近年は丘陵地での開発が進み、市街化が進んでいる。出水時の被害の特徴として下流部の地盤高が低く、高潮時には内水の自然排水が困難となるため、内水被害が多いものとなっている。当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、河川改修による外水の氾濫対策と下水道整備による内水の氾濫対策が一体となったハード対策を中心に行うとともに、圏域全体において、ハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策等を実施することで、浸水被害の低減を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 堀切川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、水門改築、排水機場改築、施設の延命化 等  
 【内水氾濫対策】下水道（雨水排水）施設の整備、ポンプ場整備 等
- 金沢川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削 等  
 【内水氾濫対策】下水道（雨水排水）施設の整備、調整池整備 等
- 中ノ川水系**  
 【洪水氾濫対策】河道掘削、護岸整備 等  
 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

- 被害対象を減少させるための対策**  
 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討（立地適正化計画の検討）、土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知）
  - ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
  - ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練の実施）
  - ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
  - ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善）
  - ・企業等と連携した避難体制等の確保
  - ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等



凡例

- 流域界
- 浸水想定区域図(想定最大規模)
- 県管理区間
- 県管理区間の対策
- 市町管理区間の対策

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 鈴鹿圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 国内有数の産業集積地を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

中間案

鈴鹿圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】鈴鹿圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削や下水道施設整備等を主に実施。被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。
- 【中期】鈴鹿圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業と内水対策事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。
- 【中長期】鈴鹿圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築・水門改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

<b>河川対策</b>	
全体事業費	約87億円
対策内容	河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、水門改築等
圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載	
<b>下水道対策</b>	
全体事業費	約51億円
対策内容	下水道施設の整備、ポンプ場整備等

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	[堀切川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、水門改築、排水機場改築、施設の延命化等	三重県、鈴鹿市	緊急氾濫推進事業完了	稲生新川改修事業第1期完了	
	○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備、ポンプ場整備等	鈴鹿市	稲生中央第2排水区下水道整備完了	白子中央排水区雨水ポンプ場整備完了	
	[金沢川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削等	三重県	緊急氾濫推進事業完了		
	○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備、調整池整備等	鈴鹿市	安塚南部第1排水区調整池整備完了	金沢排水区下水道整備第1期完了	
	[中ノ川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、護岸整備等	三重県、鈴鹿市	緊急氾濫推進事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備等	三重県		森林整備・保全	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 安全なまちづくりに向けた取組を検討	鈴鹿市			
	・土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	三重県、亀山市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実 水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知)	気象庁、三重県、鈴鹿市、亀山市、他 あらゆる関係者		ハザードマップの作成・更新	
	避難体制等の強化 ・土砂災害警戒区域等の指定・発表 持続的な水災害教育の実施と伝承 (水災害を想定した防災訓練の実施) ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と 避難の実効性の確保 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 (水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善) ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・広報誌等を活用した継続的な情報発信等			全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了	



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 津圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

中間案

～行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、津圏域の二級水系においても、事前防災対策を進める必要がある。当圏域においては、下流部には多くの行政施設や文教施設を含む市街地が形成されており、中流部には三重県有数の水田地帯、上流部には山林地帯が広がっている。中流部における広大な農地を潤すため、ため池が多く存在していることに加え、安濃川上流には安濃ダムが設けられ、貯留された水が利用されている。

○ 当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、県庁所在地を守るため、河川改修による洪水氾濫対策や下水道施設の整備による内水氾濫対策、安濃ダムの事前放流やため池・農地等を活用した流出抑制を行うとともに、圏域全体においてハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策を実施することで、浸水被害の低減を図る。

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 安濃川水系

- 〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備 等
- 〔流水の貯留機能の拡大〕安濃ダムにおける事前放流、堆砂対策 等
- 〔内水氾濫対策〕下水道（雨水排水）施設の整備 等
- 〔流域の雨水貯留機能の向上〕治山ダムの整備、森林整備 等

### 岩田川水系

- 〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備 等
- 〔内水氾濫対策〕下水道（雨水排水）施設・排水機場の整備 等
- 〔流域の雨水貯留機能の向上〕調整池の整備 等

### 志登茂川水系

- 〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、施設の延命化等
- 〔内水氾濫対策〕下水道（雨水排水）施設の整備 等
- 〔流域の雨水貯留機能の向上〕農地等を活用した流出抑制、調整池の整備 等

### 相川水系

- 〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、堰改築 等
- 〔内水氾濫対策〕下水道（雨水排水）施設の整備 等
- 〔流域の雨水貯留機能の向上〕調整池の整備 等

### 田中川水系

- 〔洪水氾濫対策〕河道掘削、堤防整備、耐震対策、施設の延命化 等

## 被害対象を減少させるための対策

〔水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫〕関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討（立地適正化計画に基づく防災指針の作成・検討）、土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知）
- ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練の実施）
- ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善）
- ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等

### 位置図



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 津圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

中間案

～ 行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

津圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】津圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削やため池の調整池化等を主に実施。被害軽減のため、立地適正化計画に基づく防災指針の作成・検討や水害リスク情報の空白域解消等を実施。
- 【中期】津圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業と下水道整備事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。
- 【中長期】津圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

### 河川対策

全体事業費 約188億円  
 対策内容 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堤防整備、橋梁改築、耐震対策等

圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

### 下水道対策

全体事業費 約106億円  
 対策内容 下水道施設の整備、ポンプ場整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
<b>氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b>	[安濃川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備 等 ○流水の貯留機能の拡大 ・安濃ダムにおける事前放流、堆砂対策 等	三重県、津市	緊急浚渫推進事業完了 緊急自然災害防止対策事業完了	事前放流・堆砂対策	
	○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備 等	津市		志登茂川処理区下水道整備完了	
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		森林整備・保全	
	[岩田川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備 等 ○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設、排水機場の整備 等	三重県、津市	緊急浚渫推進事業完了 緊急自然災害防止対策事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・調整池の整備 等	津市		農業用ため池調整池化完了	
	[志登茂川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、施設の延命化等 ○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備 等	三重県、津市	緊急浚渫推進事業完了 緊急自然災害防止対策事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・農地等を活用した流出抑制、調整池の整備 等	三重県、津市		農業用ため池調整池化完了	
	○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備 等	津市		志登茂川処理区下水道整備完了	
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・農地等を活用した流出抑制、調整池の整備 等	三重県、津市		農業用ため池調整池化完了	
	[相川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、堰改築 等 ○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備 等	三重県、津市	緊急浚渫推進事業完了 緊急自然災害防止対策事業完了	新相川橋梁替完了	
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・調整池の整備 等	津市		農業用ため池調整池化完了	
	○内水氾濫対策 ・下水道(雨水排水)施設の整備 等	津市		志登茂川処理区下水道整備完了	
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・調整池の整備 等	津市		農業用ため池調整池化完了	
	[田中川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、耐震対策、施設の延命化 等	三重県	緊急浚渫推進事業完了		
<b>被害対象を減少させるための対策</b>	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討 ・土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	津市	立地適正化計画(見直し)に基づく 防災指針の作成・検討		
<b>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b>	土地の水災害リスク情報の充実 水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知)	気象庁、三重県、津市、他 あらゆる関係者		ハザードマップの作成・更新	
	避難体制等の強化 ・土砂災害警戒区域等の指定・発表 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 (水災害を想定した防災訓練の実施) ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と 避難の実効性の確保 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 (水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善) ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等		全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 松阪圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

中間案

～ 由緒ある歴史を持つ地域を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、松阪圏域の二級水系においても、事前防災対策を進める必要がある。当圏域においては由緒ある名所旧跡が数多く見られ、土地利用としては、中流部から下流部にかけては市街地が広がり、上流部では農地が多く、山地の割合は少ない。当圏域の地形として、扇状地性低地や三角州性低地といった低地が広く形成されていることから自然排水が困難となる区域が存在し、内水被害が過去に多く発生している。当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、河川改修による外水の氾濫対策と下水道整備による内水の氾濫対策が一体となったハード対策を中心に行うとともに、圏域全体において、ハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策等を実施することで、浸水被害の低減を図る。

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 三渡川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堤防整備、橋梁改築、施設の延命化等

〔流域の雨水貯留機能の向上〕農地等を活用した流出抑制、治山ダムの整備、森林整備等

### 金剛川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、護岸整備、耐震対策、施設の延命化等

〔内水氾濫対策〕下水道（雨水排水）施設の整備、ポンプ場の整備・長寿命化等

### 阪内川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削等

〔流域の雨水貯留機能の向上〕治山ダムの整備、森林整備等

### 中川水系

〔洪水氾濫対策〕護岸整備等

### 笹笛川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、耐震対策、施設の延命化等

〔流域の雨水貯留機能の向上〕排水路改修、ため池整備等

### 大堀川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、施設の延命化等

〔流域の雨水貯留機能の向上〕ため池整備等

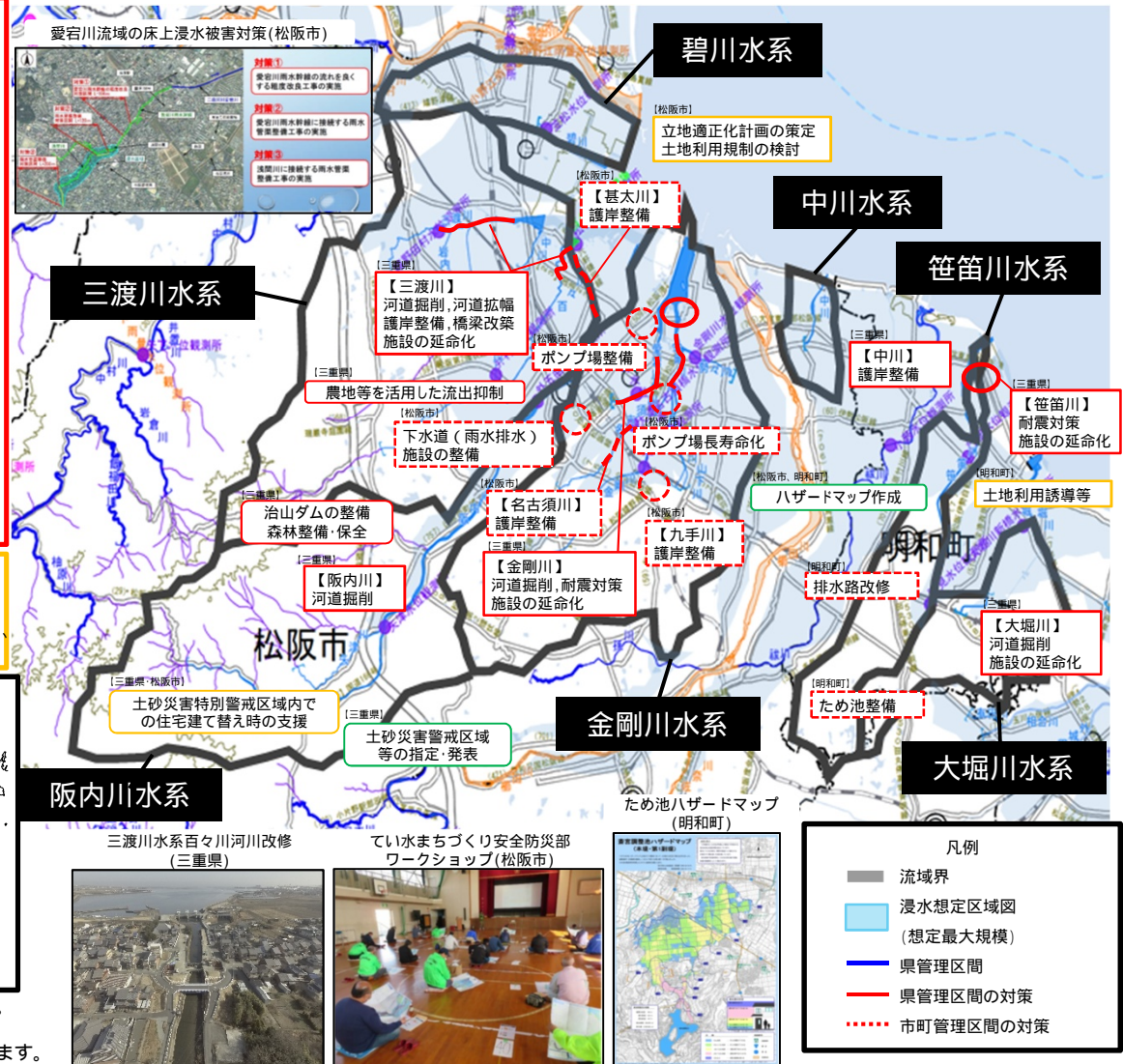
## 被害対象を減少させるための対策

〔水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫〕関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討（立地適正化計画の策定、土地利用誘導等）、土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知）
- ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練の実施）
- ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善）
- ・広報誌等を活用した継続的な情報発信等

## 位置図



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。



# 松阪圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

中間案

～ 由緒ある歴史を持つ地域を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

松阪圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市町、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】松阪圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削や下水道施設整備等を主に実施。被害軽減のため、立地適正化計画の作成や水害リスク情報の空白域解消等を実施。
- 【中期】松阪圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。
- 【中長期】松阪圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

<b>河川対策</b>	
全体事業費	約32億円
対策内容	河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、耐震対策等
	圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
<b>下水道対策</b>	
全体事業費	約8億円
対策内容	下水道施設の整備 ポンプ場整備、長寿命化

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	〔三渡川水系〕 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、施設の延命化等	三重県、松阪市	緊急浚渫推進事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・農地等を活用した流出抑制、治山ダムの整備、森林整備等	三重県		森林整備・保全	
	〔金剛川水系〕 洪水氾濫対策 ・河道掘削、護岸整備、耐震対策、施設の延命化等	三重県、松阪市	緊急浚渫推進事業完了 九手川改修事業完了		
	○内水氾濫対策 ・下水道（雨水排水）施設の整備、ポンプ場の整備・長寿命化等	松阪市	愛宕川排水区雨水管渠工事完了 沖ス雨水ポンプ増設事業完了		
	〔阪内川水系〕 洪水氾濫対策 ・河道掘削等	三重県	緊急浚渫推進事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備等	三重県		森林整備・保全	
	〔中川水系〕 洪水氾濫対策 ・護岸整備等	三重県			
	〔笹苗川水系〕 洪水氾濫対策 ・河道掘削、耐震対策、施設の延命化等	三重県	緊急浚渫推進事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・排水路改修、ため池整備等	明和町	明和地区排水路改修完了		
	〔大堀川水系〕 洪水氾濫対策 ・河道掘削、施設の延命化等	三重県	緊急浚渫推進事業完了		
○流域の雨水貯留機能の向上 ため池整備等	明和町		ため池整備		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫 安全なまらづくりに向けた取組を検討	松阪市、明和町	立地適正化計画の作成 土地利用誘導・規制の検討		
	・土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	三重県、松阪市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実 水害リスク情報の空白域の解消 （洪水・内水ハザードマップなどの策定・周知）	気象庁、三重県、松阪市、明和町、他 あらゆる関係者		ハザードマップの作成・更新	
	避難体制等の強化 土砂災害警戒区域等の指定・発表 持続的な水災害教育の実施と伝承 （水災害を想定した防災訓練の実施） 要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保 流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 （水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善） 広報誌等を活用した継続的な情報発信等		全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 伊勢北部圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

中間案

～ 歴史ある宿場町に暮らす人々の安全・安心を守る流域治水の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、伊勢北部圏域の二級水系において、事前防災対策を進める必要がある。当圏域においては伊勢神宮の宿場町として栄えた歴史ある街並みが随所に見られ、土地利用としては、中下流部の沿川に住宅地が広がり、中上流部では豊かな田園が広がっている。近年は市街地の割合が増加している傾向にある。当該圏域の地形としては、沿川は谷底平野・氾濫平野が広がり、その周囲を段丘が囲んでおり、出水時には平野部を中心に洪水が拡散しやすい地形となっており、近年では平成29年の台風21号により、玉城町市街地を中心に床上浸水、床下浸水の被害が多く発生した。当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、ネック点となっている橋梁の架替や引堤、河道掘削による氾濫対策を行うとともに、災害時に円滑な避難が行えるよう、水防情報の提供、ハザードマップ作成への支援など防災意識を高めるソフト対策などの被害軽減対策を実施することで、浸水被害の低減を図る。

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 外城田川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堤防整備、橋梁改築、等  
〔流域の雨水貯留機能の向上〕治山ダムの整備、森林整備 等

### 江川水系

〔洪水氾濫対策〕河道掘削、施設の延命化 等

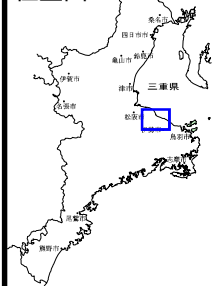
## 被害対象を減少させるための対策

〔水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫〕関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討  
(立地適正化計画に基づく防災指針の作成・検討)

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消  
(洪水ハザードマップなどの策定・周知)
- ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承  
(水災害を想定した防災訓練の実施)
- ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供  
(水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善)
- ・企業等と連携した避難体制等の確保
- ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等

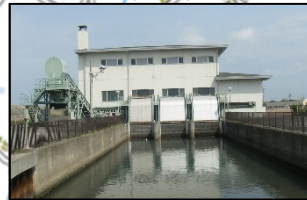
## 位置図



ハザードマップの策定  
(伊勢市、玉城町)



江川排水機場施設の延命化  
(三重県)



## 江川水系

〔江川〕  
河道掘削  
施設の延命化

立地適正化計画に基づく  
防災指針の作成・検討

〔外城田川〕  
河道掘削、河道拡幅  
護岸整備、堤防整備  
橋梁改築

ハザードマップ作成  
要配慮者利用施設  
避難確保計画の促進

治山ダムの整備  
森林整備・保全

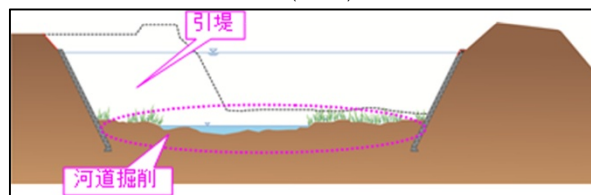
土砂災害警戒区域  
等の指定・発表

## 外城田川水系

外城田川河道掘削  
(玉城町)



外城田川河川整備計画横断概要図  
(三重県)



## 凡例

- 流域界
- 浸水想定区域図  
(想定最大規模)
- 県管理区間
- 県管理区間の対策
- ⋯ 市町管理区間の対策

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 伊勢北部圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 歴史ある宿場町に暮らす人々の安全・安心を守る流域治水の推進～

中間案

伊勢北部圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市町、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】伊勢北部圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削等を主に実施。被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】伊勢北部圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。

【中長期】伊勢北部圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

### 河川対策

全体事業費 約92億円

対策内容 河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築 等

圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	[外城田川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築 等	三重県、玉城町、多気町	緊急浚渫推進事業完了 緊急自然災害防止対策事業完了		
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県	森林整備・保全		
	[江川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、施設の延命化 等	三重県	緊急浚渫推進事業完了		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討	伊勢市	立地適正化計画の策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水ハザードマップなどの策定・周知)	気象庁、三重県、伊勢市、玉城町、多気町 他 あらゆる関係者	全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了		
	避難体制等の強化 ・土砂災害警戒区域等の指定・発表 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 (水災害を想定した防災訓練の実施) ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 (水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善) ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等		ハザードマップの作成・更新		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 伊勢南部圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

中間案

～豊かな自然を有する熊野灘沿岸地域における流域治水の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、伊勢南部圏域の二級水系において、事前防災対策を進める必要がある。伊勢南部圏域は、大部分が山林、急峻な地形となっており、出水時に洪水が広く拡散し、浸水が継続するような平坦地が少ないことから、洪水被害の発生頻度は少ない地域である一方、熊野灘沿岸地域は、大規模地震発生時には津波による被害が甚大となる想定がされていることから、防災・減災に対して関心が高い地域性を有している。当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、出水時に河川管理施設の必要な機能が発揮できるように計画的な維持・修繕を行うとともに、水防情報の提供や水災害教育など防災意識をさらに高めるソフト対策を実施することで、円滑な浸水被害の低減を図る。

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 神津佐川水系

- 【洪水氾濫対策】護岸整備 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 泉川水系

- 【洪水氾濫対策】護岸整備 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 五ヶ所川水系

- 【洪水氾濫対策】護岸整備 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 中の谷川水系

- 【洪水氾濫対策】河道掘削 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 伊勢路川水系

- 【洪水氾濫対策】河道掘削、護岸整備 等
- 【土砂災害対策】砂防堰堤の整備 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 大江川水系

- 【洪水氾濫対策】河道掘削 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 河内川水系

- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 村山川水系

- 【洪水氾濫対策】河道掘削 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 小方川水系

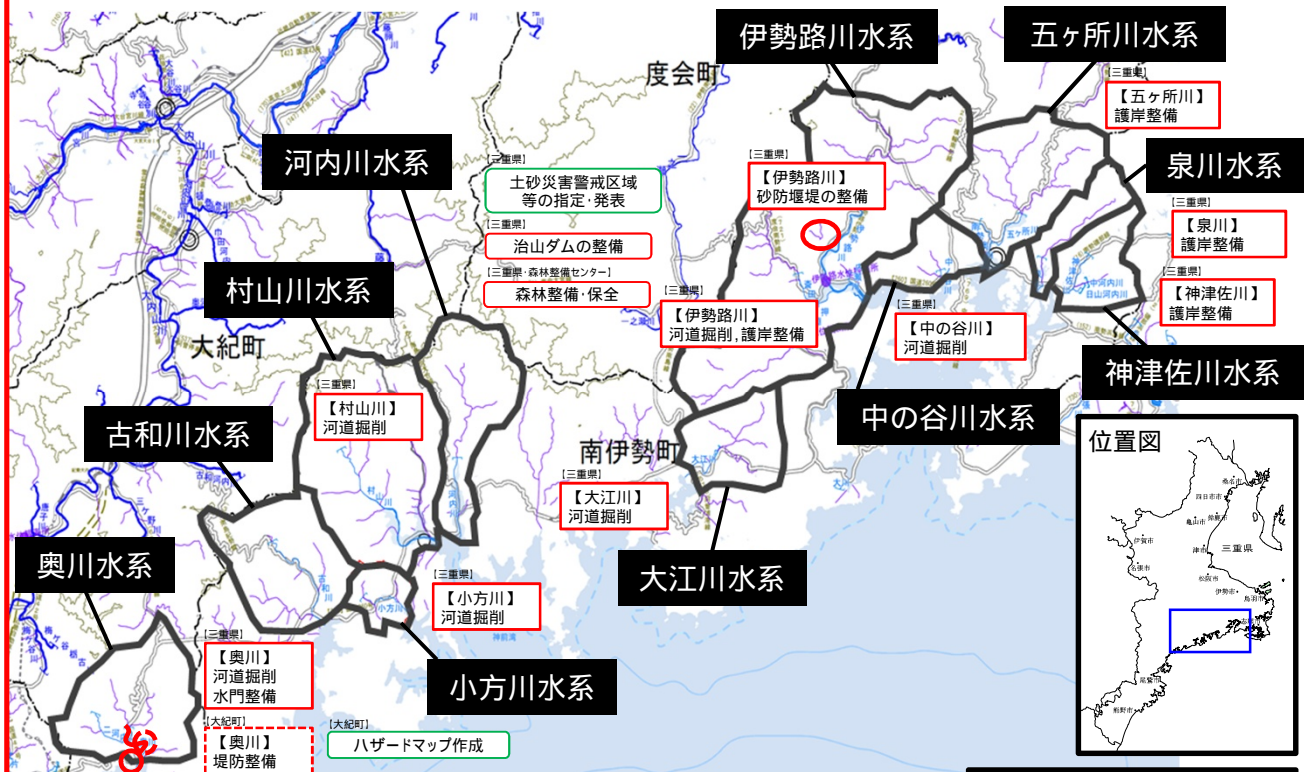
- 【洪水氾濫対策】河道掘削 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 古和川水系

- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等

### 奥川水系

- 【洪水氾濫対策】河道掘削、水門整備 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】治山ダムの整備、森林整備 等



凡例	
	流域界
	浸水想定区域図 (想定最大規模)
	県管理区間
	県管理区間の対策
	市町管理区間の対策

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水ハザードマップなどの策定・周知)
- ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承 (水災害を想定した防災訓練の実施)
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 (水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善)
- ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 伊勢南部圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

中間案

～豊かな自然を有する熊野灘沿岸地域における流域治水の推進～

伊勢南部圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、町、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】伊勢南部圏域内の河川の必要な機能が発揮できるよう、中下流部で河道掘削等を主に実施。

被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。

【中長期】伊勢南部圏域全体の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。

被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【事業費】

河川対策

全体事業費 約45億円

対策内容 河道掘削、  
水門整備 等

圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	[神津佐川水系] 洪水氾濫対策 ・護岸整備 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■
	[泉川水系] 洪水氾濫対策 ・護岸整備 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■
	[五ヶ所川水系] 洪水氾濫対策 ・護岸整備 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■
	[中の川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■
	[伊勢路川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、護岸整備 等	三重県	■	■	■
	○土砂災害対策 ・砂防堰堤の整備 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		■	■
	[大江川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削 等	三重県	■	■	■
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■
	[河内川水系] ○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		■	■
	[村山川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削 等	三重県	■	■	■
○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		■	■	
[小方川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削 等	三重県	■	■	■	
○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県		■	■	
[古川川水系] ○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		■	■	
[奥川水系] 洪水氾濫対策 ・河道掘削、水門整備 等	三重県	■	■	■	
○流域の雨水貯留機能の向上 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、森林整備センター		■	■	
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水ハザードマップなどの策定・周知)	気象庁、三重県、 南伊勢町、大紀町、他 あらゆる関係者		■	■
	避難体制等の強化 ・土砂災害警戒区域等の指定・発表 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 (水災害を想定した防災訓練の実施) ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 (水位計・監視カメラの設置、防災気象情報の改善) ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等			■	■

緊急浸漬推進事業完了

緊急浸漬推進事業完了

奥出の谷砂防事業完了

緊急浸漬推進事業完了

緊急浸漬推進事業完了

緊急浸漬推進事業完了

全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了

ハザードマップの作成・更新



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。